

第59回 BUSINESS SHOW **ビジネスショー TOKYO 2007** に出展します

2007年7月11日(水)・12日(木)・13日(金)
AM10:00~PM5:00

東京ビッグサイト 有明・東京国際展示場
東展示棟 2ホール・会議棟

主催：社団法人日本経営協会
東京商工会議所

入場無料

■(株)データ・テック展示ブース
：BL-10
■テーマ
：日常運転と環境を改善する
SRの活用

データ・テック提供 **特別講演**

会場：カンファレンス 出展者プレゼンテーションセミナー (A-11)
日時：7月13日(金) 14:20~15:20

「安全への取り組み」セーフティレコーダ(SR)の活用事例
多摩運送株式会社 副社長 小菅 省三氏



SR Video
セーフティレコーダビデオ

2006年3月にセーフティレコーダ(SR)を全車両に導入し、事故大幅削減を実現！
日常の習慣的で無意識な運転を改善するために、SRを使いどう取り組んできたかについてご紹介いただきます。

※事前申し込みが必要です。公式ホームページからお申し込みください。 <http://bs.noma.or.jp/>

イベント紹介

参加には、**事前申込が必要**です。お問い合わせは、下記コールセンターまで。

SR定期セミナー

	8月	9月	10月
東京 (株)データ・テック 東京本社 (大田区 蒲田)	8/23(木)	9/20(木)	改めて スケジュールを ご案内します
大阪 大阪厚生年金会館 (大阪市 心斎橋)	8/29(水)	9/26(水)	



セミナー風景

お客様交流会

開催!
第5回 SRお客様交流会

日時：7月20日(金)
会場：大田区産業プラザPiO

- 1 受付 <11:00~>
- 2 ご講演 <4社予定>
- 3 懇親会 <17:30~>
- 4 閉会 <19:00>

ご講演予定

社団法人 埼玉県トラック協会殿
職業能力開発総合大学殿
中部交通共済協同組合殿
北三運輸株式会社殿

※イベント日程、会場等は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。

発行：株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12
(コールセンター) TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7043

<http://www.datatec.co.jp>

SR NEWS

人とくるまのテクノロジー展2007

にて講演会を実施!

特集

2007年5月23日(水)~25日(金)
in パシフィコ横浜・展示ホール

テーマ：**安全運転志向型ドライブレコーダの活用**

トラック宅配業務の映像に示される「平常走行における個人差」

甲南女子大学 人間科学部 藤島 寛 先生

初日にもかかわらず、セミナー会場は立ち見もでるほどの盛況ぶり。甲南女子大学人間科学部 藤島 寛先生にトラック宅配業務の情報・映像をもとに、セーフティレコーダを活用し、分析、現場確認の有効性、さらに安全運転の精神をもった運転者養成への有効な方法について、お話をいただきました。



藤島 寛 先生

SRより得られる「映像」の利点… お互いの「納得」への導き

見ればわかる！
日常運転の想起が簡単

現場感のある映像で明示。
1分ごとのデータを写真をみながら位置対応で確認できる。

映像を見ながら
話し合いができる

映像をみながら、管理者と運転者が一緒に見て追体験する。
「その運転操作は仕方なかった？」
「(運転者の言い分を聞いて) そうだったのか。確かに、これでは仕方ないね」
「ここは急ブレーキをかけない方法もあったのでは？」

映像記録装置を車に取り付けることで、客観的データと合わせて映像を見ながら、安全運転について話し合うことができます。これにより深いレベルでの安全運転行動が維持され、事故防止への基盤である安全運転の精神をもったプロドライバー養成につながるのです。

客観的事実(データ・映像)に基づいた対話は、運転者が自己理解することに加え、運行管理者が運転者と共に現場を追体験することができ、運転者への共感を生み出します。双方にとっての貴重な共感的理解へと導くのです。これによって支えられる運転者の自己理解は、自分自身で納得した深い理解であり、状況や感情に左右されない安定した行動をもたらすと考えられます。

共感的理解へ導くカウンセリング

- STEP 1 運転行動の特徴を理解 「客観性映像」と「データ」の共同作業
- STEP 2 運転現場を確認・分析
- STEP 3 運転行動の原因を把握 運行管理者と運転者の協働作業
- STEP 4 運転者の「納得」
- STEP 5 STEP1~STEP4の繰り返し **協働作業の実施**

宅配業者における効果の一例

- 1) 事故が30~50%減少
- 2) 燃費のコストダウン

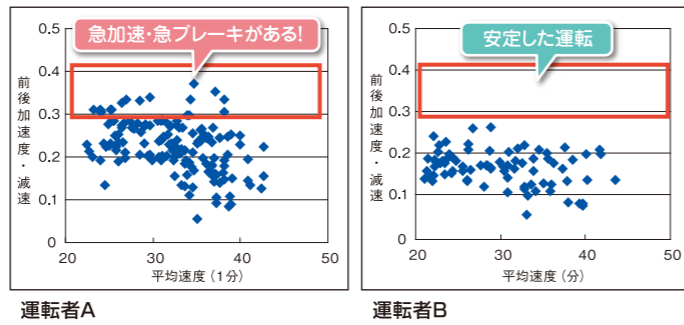
1 急ブレーキ・急加速 制動(前後加速度・減速度)の比較

身体には相当な揺れを感じる加速度が0.3G以上。運転者Bは、0.3Gを超える範囲に数値が見られないのに対して、運転者Aは、数値の分布があり、急ブレーキ、急加速の傾向がある運転であることが読み取れます。



前の車のブレーキランプ点灯で、急ブレーキを踏んだ

どういった状況でブレーキを踏んだか、運転者と映像を見ながら話し合うことができます。



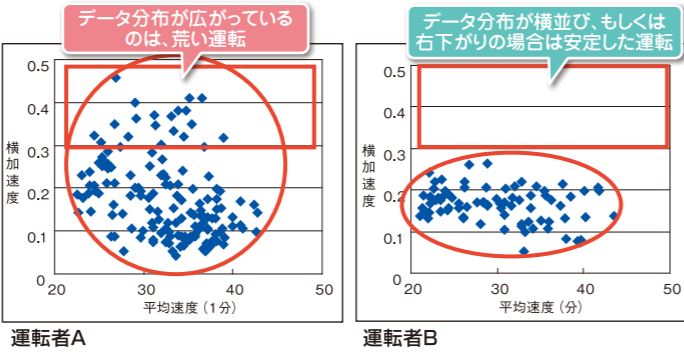
2 荒いハンドル操作 横加速度変化の比較

運転者Aは、全体に数値が分布しています。一方、運転者Bは、一定の数値の範囲内で安定しています。Aは、左右に動きが激しい荒いハンドル操作であることが見えてきます。Bのように、狭い一定の数値範囲で、平均速度に平行分布する運転ができることが理想です。また、速度が高まりハンドル操作が慎重になると、分布は右下がりになりますが、これは普通の運転者と判断することができます。



交差点の直前ギリギリでハンドルを切っている

運転者Aは、狭い生活道路で急なハンドル操作をしていることが映像でわかる。

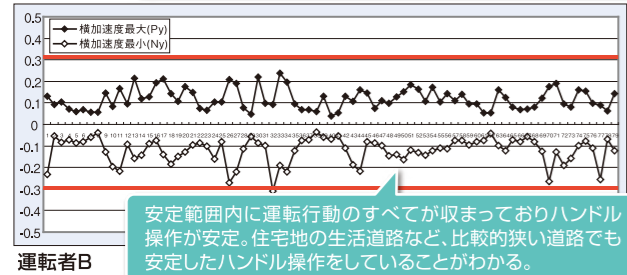
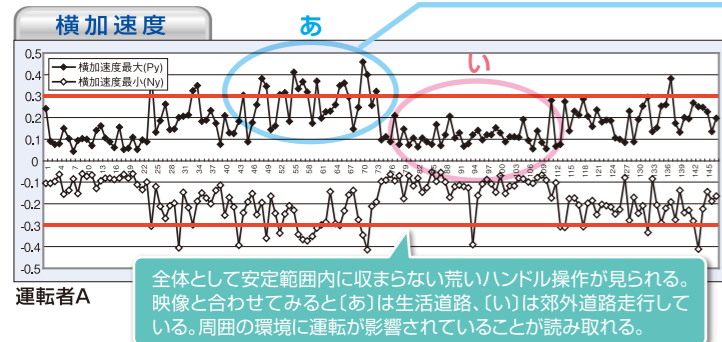


まとめ ①、②から運転者Aは、急ブレーキが多く、ハンドル操作も荒いことがわかる。

3 1日の運転行動 例) 横加速度の1日内的変化

1日の平均値でとらえず、実測値を図に示すことで、1日内の運転状況をそのままに把握することができます。また、図とその場面の映像を照らし合わせることもできるという

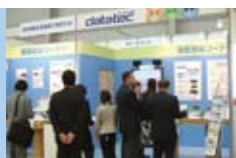
点から、セーフティレコーダは大きな役割を發揮します。生活道路と郊外道路の運転状況などの個人差比較ができ、日常の運転者の意識が見えてきます。



▼[あ]部分の平常走行記録



まとめ 横加速度の変化の大きさは、道路状況によるものではなく、運転者の行動により生じると考えられる。



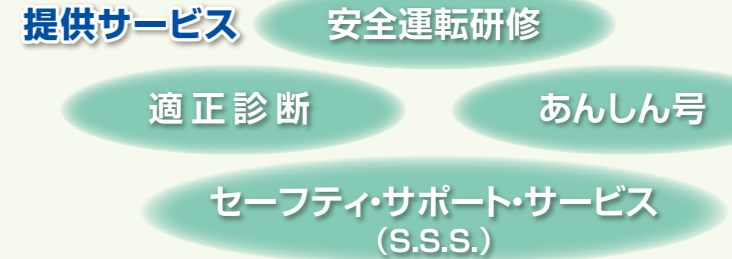
人とくるまのテクノロジー展2017 データ・テックブースご紹介

「車の挙動を高精度で測定!」がテーマ。基礎技術コーナーではSR-CANを中心にセンサーの展示。派生技術コーナーでは、SRVideoを中心にセーフティレコーダを展示しました。

SRレポート

四国交通共済協同組合がセーフティレコーダ[SR]の無料貸し出し制度を6月からスタート!

四国交通共済協同組合(四交協)は、安全運転研修センターを設け、加入組合員に無料で利用できるサービスを提供するなど、安全運転への取り組みに熱心な活動を行っています。



SRの用意からデータ解析まで、すべて自前で実施

従来のSR貸し出し制度は、メーカーから機器を借り、データ分析も依頼するというものでした。この制度の評判がよかったため、四交協は、自らSRVideoを購入し、これまでに蓄積したノウハウを生かし、解析についても自前で行い、運営します。



- SRVideoセット
- ①SRVideo本体
 - ②カメラ
 - ③GPSアンテナ
 - ④配線

【江藤和博】四国交通共済協同組合(堀口国男理事長)は六月をメドにデジタルタコグラフの機能が付いたドライブレコーダー(DR)の無料貸し出し制度を始める。対人契約を結んでいる全組合員が対象。走行状態を映像で記録するDRは、事故発生時の状況を確認できるように加え、日頃の運転をチェックすることにより、適切な運転指導が可能になる。しかし、デジタル機能の付いたDRは一台三十万円程度と高価で、四国における普及率はまだまだ低い。

【江藤和博】四国交通共済協同組合(堀口国男理事長)は六月をメドにデジタルタコグラフの機能が付いたドライブレコーダー(DR)の無料貸し出し制度を始める。対人契約を結んでいる全組合員が対象。走行状態を映像で記録するDRは、事故発生時の状況を確認できるように加え、日頃の運転をチェックすることにより、適切な運転指導が可能になる。しかし、デジタル機能の付いたDRは一台三十万円程度と高価で、四国における普及率はまだまだ低い。

6月スタート

DR無料貸し出し

【江藤和博】四国交通共済協同組合(堀口国男理事長)は六月をメドにデジタルタコグラフの機能が付いたドライブレコーダー(DR)の無料貸し出し制度を始める。対人契約を結んでいる全組合員が対象。走行状態を映像で記録するDRは、事故発生時の状況を確認できるように加え、日頃の運転をチェックすることにより、適切な運転指導が可能になる。しかし、デジタル機能の付いたDRは一台三十万円程度と高価で、四国における普及率はまだまだ低い。

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

2007年(平成19年) 4月12日(木曜日)

四国交通共済協同組合

HP <http://www.yonkokyo.or.jp>

昭和48年に中小企業協同組合法に基づき、四国運輸局の認可を得て、四国4県のトラック事業者により設立された協同組合です。組合員の相互扶助の精神に基づき、万一の交通事故の損害補填を図るため自動車共済及び自賠責共済、その他関連共済事業の運営、ならびに事故防止等、幅広く事業を展開しています。

組合概要

- ◆名称：四国交通共済協同組合
- ◆所在地：〒762-0063 香川県坂出市番の州公園6番6号
- ◆電話番号：0877-44-4416(代)
- ◆FAX番号：0877-44-3390
- ◆設立：1973年3月30日
- ◆理事長：松田 誠祐
- ◆組合員数：1,127社
- ◆SR導入：2007年6月
- ◆SRVideo10台



四交協の安全対策事業

特別指導講習(初任運転者・事故惹起者)

新人ドライバー、事故を経験されたドライバーのためのコースで、輸送安全規則に基づく講習です。

セーフティドライブコース

事業所の安全担当ドライバーを養成するためのコースです。

マネージャーコース

運行管理に携わる方のためのコースです。

エコドライブコース

省エネ運転を目指す管理者及び、ドライバーのためのコースです。



安全運転研修センター <コースでの実車実習風景>



実車実習風景

初任診断

新たに雇い入れたドライバーを対象に、入社後初めてトラックに乗務する前に受診します。

適正診断

高齢ドライバー(65歳以上)を対象に、65歳に達した1年以内に受診、その後3年以内ごとに受診します。

特定診断

死者又は重傷者を生じた交通事故を起こし、且つ当該事故前の1年間に交通事故を起こしたことがないドライバー、もしくは、軽傷者を生じた交通事故を起こし、且つ当該事故前の3年間に交通事故を起こしたことがあるドライバーが対象。交通事故を起こした後、再度乗務する前に受診します。

一般診断

すべてのドライバーを対象に、2~3年に一度の受診を推進。ドライバーの運転特性を明らかにし、安全運転にとって必要な特性について診断します。